

2024年9月20日

[配信枚数1枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位

日本語を学び続けるウクライナ学生と交流

国立キーウ第一東洋言語学校生徒にオンライン授業を実施

日本文化によるウクライナ支援プロジェクトを続けている滋賀大学産学公連携推進機構 近兼敏客員教授が、日本語を学ぶウクライナ学生に、戦時下でも日本語を学ぶ意欲を持ち続けてもらえるように、9月から来年3月まで日本語や日本文化に触れるオンライン授業の実施を企画しました。是非ご取材ください。

【オンライン授業プログラム】

日時：第1回 2024年9月26日（木） 15時25分～16時10分

場所：滋賀大学大津サテライトプラザ（大津市末広町1-1 JR大津駅前 日本生命ビル4階）

対象：国立キーウ第一東洋言語学校 日本語コース3年生、4年生 15人

授業内容：折り紙で作る独楽

指導：京都市立芸術大学3年 吉田千夏、滋賀大学データサイエンス研究科2年 加藤敦司

[概要]

国立キーウ第一東洋言語学校は、日本語のほか、中国語、韓国語などアジアや中東の言語コースに特化した小中高一貫校で、現在、約150人が日本語を勉強しています。ただ、ロシアによるウクライナ侵攻後、国外に避難する教員もいて、十分な日本語教育が出来ているとは言えない状況にあります。

このため、戦時下でも日本語を学ぶ意欲を持ち続けてもらい、より日本への興味を持ってもらうことを目的に、日本語や日本文化に触れるオンライン授業を9月から来年3月までに4～5回の日程で行うこととしました。

[今後の活動]

今回のオンライン授業とは別に、国立キーウ第一東洋言語学校と滋賀県立守山高校、滋賀県立長浜北高校、滋賀県立米原高校とのオンライン交流も実施予定です。

また、国立キーウ第一東洋言語学校の日本語コースの生徒の書いた「日本への手紙」の展示を、11月から京都、滋賀で行う予定です。

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学産学公連携推進機構 客員教授 近兼

TEL：090-1903-0283

E-mail：s-chikakane@biwako.shiga-u.ac.jp